	事務事業マインメントンート (21年度実績と22年度計画) 21年度決算把握後 平成 22 年 月									H 作成 H 作成				
	事	務事業名	自治基本条例推進委員会運営事業					✓	マニフェスト 全庁横断 集中改革 関連 課題関連 プラン関連					
50	合	政 策	4	みんた	で元気で笑顔	あふれるまち	づくり	所属	禹部 総務企	画部	課長名	濱田		
言	画	施策	14	市民参	参画によるま:	ちづくりの推進	<u></u>	所属	属課 企画財	政課	担当者名	工藤	一伸	
14	茶	基本事業	43					所属	所属班 政策企画班		(, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1244		
	Ŋ	予算科目	会計	款 2	項 目 11	事業連番 11485	よ令根拠 合	志市自治基本			成果優先月コスト削減優			9
Á	終了	、 開始年度				✓ 22年度か	ら開始事	業期間	単年度のみ	✓ 単年度 限定複数年度	繰返(開始年		22 É	E度) E度)
*	·事》	終事業の概要	(旦.	的かや	か方 手順	詳細 期間限	定複数年度	事業け全体像						
() き状	★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 【事業の内容】 ・合志市自治基本条例の制定を受けて、第31条に基づき自治基本条例推進委員会条例を立案し、制定後は、自治基本条例に基づく自治の推進が図られたかどうかを調査、審議し市長へ提言する自治推進委員会を立ち上げ、運営する事業である。・合志市自治基本条例の制定、H21.4.1の施行を受けて、第31条に基づく合志市自治推進委員会の設置が必要となるため。・他自治体でも、自治の推進について監視し市長に意見を述べる役割としてこのような委員会の設置を盛り込む条例が増えており、市民・議会・行政の三者で構成し、任期による交代でも一度に入れ替わってしまわない配慮を加えた条例が出てきている。													
	【業務の流れ】 自治推進委員会条例の制度設計、立案段階の市民参画の企画、条例原案の作成(起案)、議会上程、条例制定後は委員の選出事務、会議開催運営													
関会害ん	【主な予算費目】 報酬、費用弁償 【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からど、 からどしな意見や要望が寄せられているか?													
		.状把握の部(
		孫事業の目的			建(91年度) を	徒った主わ洋	軒/ (DO)	· <u>22年</u> 日	生計画 (%年)	前に計画して)	7.2 子お注動	1) (DI	ANI)	
	① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 自治基本条例第31条に基づく自治推進委員会条例の立案、制定 後は、自治推進委員会委員の人選、会議運営													
		④活動指	票(事務	事業の	活動量を表す	指標)=①の指	標	(単位)						(単位)
<u></u>						要する会議等		J						
_		・象(誰、何を対 推進委員会	対象に	している	るのか) * 人。	や自然資源等			象指標(対象の 構成委員数	大きさを表す指	≦標) =②の指	標		(単位) 人
								1 イ			(1.5 (1.5)			
	治	図(この事業)				のか)				達成度を表す				(単位)
		基本条例の趣	皆に浴	うって選	軍営できる。			_ ア	委員会によっ	達成度を表すっ て調査され <i>t</i> って提言され <i>t</i>	と案件数			(単位) 件 件
委	員:		皆に浴 の理は をされる	いって返 日と平月 た案件	重営できる 。 成22年度目標 数を見ること	票値設定の根 で、自治推進	委員会が機能	\Rightarrow アイ	委員会によっ 委員会によっ を確認できる	って調査され <i>†</i> って提言され <i>†</i> と考え設定し	:案件数 :意見数 た。また、委員		こよって携	件 件
委た) () () () () ()	基本条例の趣 成果指標設定 会によって調 見数を見ること 指標・総事業	宮 に だ で、自	さって選 日と平月 た案件 治基オ	型営できる。	票値設定の根 で、自治推進	委員会が機能	\Rightarrow アイ	委員会によっ 委員会によっ を確認できる	って調査され <i>†</i> って提言され <i>†</i> と考え設定し	:案件数 :意見数 た。また、委員		こよって携	件 件
委た) () () () () ()	基本条例の趣成果指標設定会によって調え 見数を見ること	宮 に だ で、自	いって返 日と平月 た案件	型営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ だしていること いるかどうかそ	委員会によっ 委員会によっ を確認できると を確認できると	oて調査され <i>f</i> oて提言され <i>f</i> と考え設定し と考え設定した	と 案件数 と意見数 た。また、委∫		こよって振	件 件
委た	員意 各の	基本条例の趣 成果指標設定 会によって調 見数を見ること 指標・総事業	留に浴 での理印を で、自 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	さって選 日と平月 た案件 治基オ	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると を確認できると 22年度	oて調査され <i>f</i> oて提言され <i>f</i> と考え設定し :考え設定した 23年度	と 案件数 と意見数 た。また、委員 た。 24年度		こよって携	件 件
委た	員意 各の	基本条例の趣成果指標設定会によって調整を見ることを 見数を見ることを 指標・総事業 推移	宮 に流れたで、自	合って選出と平局 た案件 治基本 単位 回	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4		こよって携	件 件
委た	員意 各の ④	基本条例の趣成果指標設定会によって調整を見ることを 見数を見ることを 指標・総事業 推移	留に浴 での理印を で、自 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計画と平局 た案件 治基本 単位	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)}	oて調査されが oて提言されが と考え設定し 考え設定した 23年度 予定	と 案件数 と意見数 た。また、委員 た。 24年度	員会に		件 件
委た	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	基本条例の趣成果指標設定会によってという。 は果指標でであることを ・指標・総事業 ・指動指標 対象指標 対象指標	宮 に流れたで、自	合って選出と平局 た案件 治基本 単位 回	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	こよって携	供件 件
委た	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	基本条例の趣 成果指標で表 会になった。 記 数を見ること 指標・総事業 推移 活動指標 対象指標 成果指標	を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	おって選出と平成と 日と平成と と変化 と変化 と変化 と変化 と変化 と変化 と変化 と変化 と変化 と変	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 目標(当初予算) 20	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	総ト 一 タル	供件 件
委た	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	基本条例の趣 成果指標で見ること 提供で見ること 指標・総事業 指標 対象指標 対象指標 対象指標	を で	おって選 日と平原 日と来 作 生 条 件 ー 人 ー 件 ー 件	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 _{目標(当初予算)} 20 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	総ト 一 タル	# 件 # 言され プスト
委た	員意 8の 4 5 6 F	基本条例の趣 成果指示を見 標でしること 指移 指移 指標 対 果 国道府 が 果 国道府県	皆に 流の理はい。 でで、 費 アイアイアイ 全 出支出金	おって選 せ	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 _{目標(当初予算)} 20 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	総ト 一 タル	# 件 # 言され プスト
委た	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本条例の趣 成会見 根標である。 指移 動指標標 東語の見 一般である。 一般である。 は会見 一般である。 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、	唱「に流」 の理はい言で、	おって返 は 上	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 _{目標(当初予算)} 20 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	総ト 一 タル	# 件 # 言され プスト
委た (2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本条例の趣 成会見 指揮 ・総 標でる ・総 糖糖 指 糖 標 ・総 糖 標 車 本 本 本 本 表 支 基 支 基 支 基 支 基 支 基 支 基 </td <td>旨に流 のさで、 費 アイアイアイ 金 金 他 金</td> <td>おって返 おって返 Exp Exp</td> <td>重営できる。</td> <td>票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度</td> <td>委員会が機能 が行われて 21年度</td> <td>⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度</td> <td>委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 _{目標(当初予算)} 20 3</td> <td>oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20</td> <td>と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4</td> <td>員会に</td> <td>総ト一タル</td> <td># 件 # 言され プスト </td>	旨 に流 のさで、 費 アイアイアイ 金 金 他 金	おって返 おって返 Exp Exp	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	⇒ ア イ 能していること いるかどうかを 21年度	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 _{目標(当初予算)} 20 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20	と案件数と意見数た。また、委員た。また、委員24年度見込4	員会に	総ト 一 タル	# 件 # 言され プスト
委た	<u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	基本条例の趣 成会見 指推 活 対 成 財源内訳 本条例の趣 機でしる 事業 技術 事業 本 事業 大会 大会 <	旨 に流 のさで、 費	するでで<	型営できる。 成22年度目標 数を見ること 条例の趣旨 19年度 実績(決算)	標値設定の根で、自治推進に沿った運営 20年度 実績(決算)	委員会が機能が行われて	ままでは、 をしていることいるかどうかを 21年度 実績(決算)	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2 20 3 3 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20 6 6	三案件数一意見数た。また、委24年度 見込420664	員会に	総ト 一 タル	# 件 件 一件 二され 一一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
委た (2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本条例の趣 成会見 指標である。 指標である。 指標である。 指標である。 は無性である。 は無性である。 は無性である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、までも、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、表質である。 は、までも、表質である。 は、までも、表質である。 は、までも、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは	旨 に流れている。 ででで、 費 アイアイアイ 金出 金出 金加 費 計	つて選 を を を を を と を と を と を と を と を と を と と を と も し し し し し し し し し し し し し	重営できる。	票値設定の根 で、自治推進 に沿った運営 20年度	委員会が機能 が行われて 21年度	ままでは、 をしていることいるかどうかを 21年度 実績(決算)	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2 20 3 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20 6	三案件数一意見数た。また、委24年度 見込42066	会に関門限定複数年	全体書	# 件 # 言され プスト
委た (2	<u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	基本条例の趣 成会見 指推 活 対 成 財源内訳 本条例の趣 機でしる 事業 技術 事業 本 事業 大会 大会 <	旨 の	するでで<	型営できる。 成22年度目標 数を見ること 条例の趣旨 19年度 実績(決算)	標値設定の根で、自治推進に沿った運営 20年度 実績(決算)	委員会が機能が行われて	ままでは、 をしていることいるかどうかを 21年度 実績(決算)	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2 20 3 3 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20 6 6	三案件数一意見数た。また、委24年度 見込420664	会には、「関係に複数を表現して、	全体書	# 件 件 一件 二され 一一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
委た (2) 投 入	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本条例の超 成会見 指推 活 対 成 財源内 標でてる **	旨 に流れている。 ででで、費 アイアイアイ 金金 かり では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	つて選手を治 単 回 人 件件円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	型営できる。 成22年度目標 数を見ること 条例の趣旨 19年度 実績(決算)	標値設定の根で、自治推進に沿った運営 20年度 実績(決算)	委員会が機能が行われて	ままでは、 をしていることいるかどうかを 21年度 実績(決算)	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2 20 3 3 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20 6 6	三案件数一意見数た。また、委24年度 見込420664	会に関門限定複数年	全体書	# 件 件 一件 二され 一一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
委た (2) 投 入	<u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	基本条例の趣 成会見 指推 新 指標 一 で に数 指移 指移 一 で に数 が に数 にな が にな が にな が にな が にな が にる の にる の にる の にる の にる の にる の にる にる にる にる にる にる にる にる にる にる	旨でなるで、費 アイアイアイ 金金 計費 が ・ 本のさで、	つて選手を指する 単 回 人 件件 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	型営できる。 成22年度目標 数を見ること 条例の趣旨 19年度 実績(決算)	標値設定の根で、自治推進に沿った運営 20年度 実績(決算)	委員会が機能が行われて	ままでいること といるかどうかを 21年度 実績(決算)	委員会によっ 委員会によっ を確認できると 企確認できると 22年度 ^{目標(当初予算)} 2 20 3 3 3	oて調査されが oて提言されが と考え設定した 考え設定した 23年度 予定 4 20 6 6 6	三案件数一意見数た。また、委24年度 見込420664	会に関門限定複数年	金体書	# 件 件 一件 二され 一一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十

事務事業名 自治基本条例推進委員会運営事業 所属部 総務企画部 所属課 企画財政課

2	評価の部(SEE) *原則は21年度の事後評価、ただ	し複数年度事業は21年度実績を	を踏まえての途中評価	i	
	①21年度目標達成度評価	達成した		達成しなかった	→【 原因】 つ
目標達出	事務事業の前年度実績は前年度目標値を 達成したか、未達成の場合その原因は?				
達成度	②22年度目標達成見込み	✓目標達成見込みあり⇒【理由	<u>1</u> 2	目標達成は厳しい	⇒【理由と対策】 🍑
評価	事務事業の本年度目標値に対して本年度の 見込みはついているか?	新市長のもとで、進め方が3 み、市民・議会・行政の意見			
	③成果の向上余地	□向上余地がある ⇒【理由	1 D	□向上余地がない	⇒【 理由】 →
有	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか				
効	④類似事業との統廃合・連携の可能性	──他に手段がある○ (具体的)○ 統廃合・連携ができる	的な手段, 事務事業) ⇒【理由】 つ	──他に手段がない	⇒【 理由】 ¬
評価	目的を達成するには、この事務事業以外他 に方法はないか?類似事業との施廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	■ 統廃合・連携ができない	→【理由】 ①		
	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある ⇒【理由	1 🦫	削減余地がない	⇒【理由】 🎝
効率は	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕 様や工法の適正化、住民の協力など)				
性評	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒【理由	ړ ۱	□削減余地がない	→【理由】 🎝
ТЩ	ボルロ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でで きないか?(アウトソーシングなど)				
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	□見直し余地がある ⇒【理由	1 🕏	△公平・公正である	⇒【理由】 🕠
性評	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 平ではないか?受益者負担が公平・公正になっ ているか?				
役割	⑧行政の役割分担の適正化	□見直し余地がある ⇒【理由	1 🕏	役割分担は適正である。	5る ⇒【理由】 🕤
	事務事業のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行出来ないか?				
3	評価結果の総括(SEE) ※事	答事業全体の振り返り、成果)	及び反省点等を記	入	
	今後の方向性(事務事業担当認 今後の事業の方向性(改革改善案			(2)) 改革・改善による期待成果
	廃止 休止 目的再設第	定事業統廃合・連携 [事業のやり方改善(有名		(廃止・休止の場合は記入不要)
_	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	□事業のやり方改善(公平性改善ない))		コスト
					向上 成維持 果低下
(3)	改革, 改善を実現する上で解決する	べき課題(壁)とその解決策			